

# 高速切断機

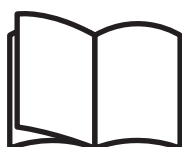
## HIGH SPEED CUT SAW

### 取扱説明書

この度は高速切断機をお買い求めいただき、ありがとうございます。  
未長くご愛用いただくため、本取扱説明書をよくお読みいただき、必ず保管してください。

#### もくじ

●はじめに	2	・加工物の固定	13
・高速切断機について	2	・固定クランプの移動のしかた	14
・仕様	2	・角度切断のしかた	15
・最大切断能力	2	●切断砥石の交換	16
●安全上のご注意	3	・切断砥石の取り外し	16
・ご使用前 ▲警告	3	・切断砥石の取り付け	18
・ご使用前 ▲注意	4	●運転手順	20
・ご使用中 ▲警告	5	・運転手順	20
・ご使用中 ▲注意	6	●使用するにあたって	23
・ご使用後 ▲警告	7	・保管の際は	23
・ご使用後 ▲注意	7	・切り込み深さの調整	23
●各部の名称	8	●故障かな?と思ったら	24
●ご使用前に	10	●別売品について	24
・電源スイッチの確認	10	●保守と点検	25
・電源スイッチの操作のしかた	10	・作業後のお手入れ	25
・差し込みプラグの確認	11	・切断砥石の点検	25
・切断砥石の確認	11	・各部取付ねじの点検	25
・アース線の接続	11	・保管について	25
・サーキットブレーカ	12	・修理について	25
●クランプの使いかた	13	・カーボンブラシの交換	26



◎お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

発売元 **株式会社 パオック**

外観、仕様などは製品改良のため、一部変更することがありますのでご了承ください。

# はじめに

## ■高速切断機について

- ◆強力なモータ内蔵で、回転低下を抑え効率の良い作業が可能です。
  - ◆角度切断は左30度～右45度まで広範囲に対応が可能です。
  - ◆クランプは無段階に固定可能で、最大約160mmまで開くことができます。
  - ◆鉄パイプ、丸棒、アングル材(L型鋼)などの切断にご使用ください。
- ※本製品は鉄鋼切断にご使用ください。

## ■仕 様

型 式	CS-305
定 格 電 圧	AC100V
定 格 周 波 数	50-60Hz
定 格 消 費 電 力	1,450W
回 転 速 度	3,800min <sup>-1</sup>
定 格 時 間	20分
砥石取付軸径	25.4mm
砥石サイズ	外径305mm×厚さ2.8mm×穴径25.4mm
電 源 コード	約1.8m (HVCTF 2.0mm <sup>2</sup> )
本 体 質 量	約13 kg
付 属 品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・砥石交換用スパナ17mm……………1本</li> <li>・切断砥石(本体取付済)……………1枚</li> <li>・取扱説明書……………1部</li> </ul>

## ■最大切断能力

	切断角度	A	B
	90°	約90mm	約90mm
	45°	約75mm	約75mm
	90°	約φ90	
	45°	約φ75	

※品質改良のため、外観・仕様など一部変わることがあります。

# 安全上のご注意

安全作業上、事故を未然に防ぐため、次に述べる注意事項をよくお読みの上、指示に従ってください。

本取扱説明書の注意事項は、「⚠警告」、「⚠注意」に区分されています。

## ⚠ 警告

この表示は取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容を表しています。

## ⚠ 注意

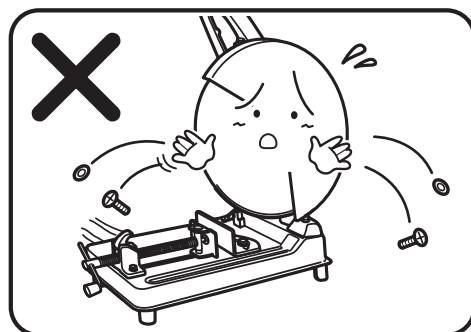
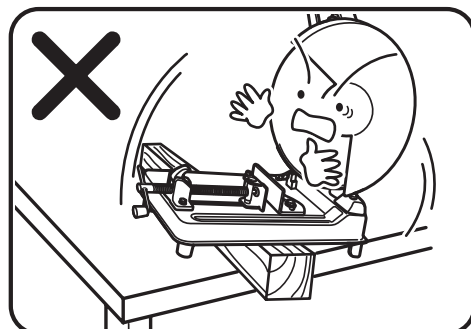
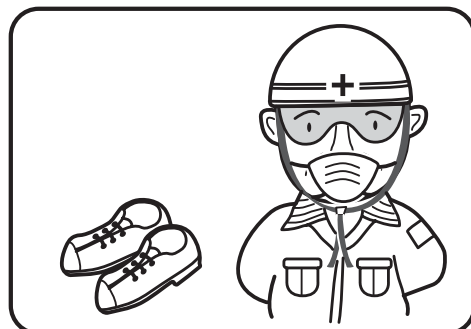
この表示は取り扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合、および物的損害の発生が想定される内容を表しています。

なお、⚠注意に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重大な内容を記載しておりますので必ず遵守してください。

## ご使用前

## ⚠ 警告

1. ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みいただき、使い方を十分理解してください。
2. 作業はきちんとした服装で行ってください。
  - ・作業環境に応じて、ヘルメット、保護メガネ、耳あて、防じんマスク、安全靴等の保護具を着用してください。
  - ・ネクタイ、手袋、袖口の開いた服装は、可動部に巻き込まれる恐れがあります。
3. 本機の据え付けは安定した水平な場所を選定してください。
  - ・不安定な場所に設置すると、転倒などして事故やけがの恐れがあります。
4. 各部のボルトやねじにゆるみがないことを確認してください。
5. 砥石カバー・砥石キャップを確認してください。
  - ・砥石カバー・砥石キャップは砥石が破損した場合の防護具です。取り外しての作業は絶対にしないでください。
6. 運転前に必ず切断砥石を点検し、亀裂・割れ等が無いことを確認してください。
  - ・切断砥石が破損し、けがの原因になります。



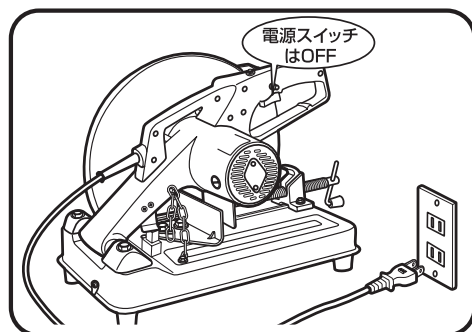
# 安全上のご注意

## ご使用前

## ⚠ 警告

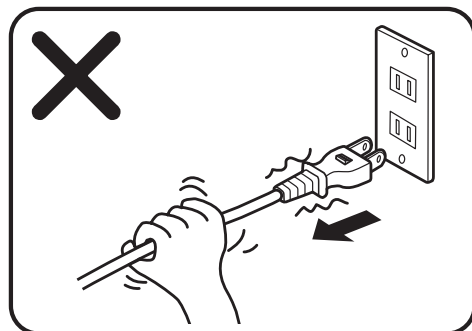
### 7. 不意な始動は避けてください。

- ・差し込みプラグを電源に差し込む前に、スイッチがOFFになっていることを確認してください。



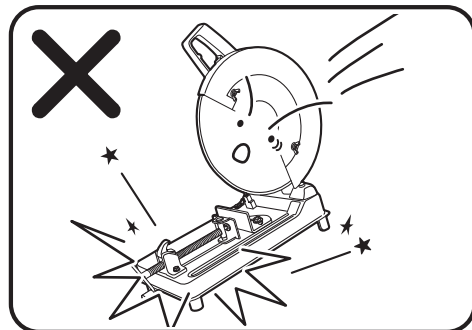
### 8. 電源コードは乱暴に扱わないでください。

- ・電源コードを引っ張って高速切断機を移動させたり、電源コードを引っ張って電源から抜いたりすると、電源コードを傷め、断線・短絡(ショート)の原因になります。
- ・電源コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。電源コード損傷の原因になります。



### 9. 必ずアース線を接続してください。P1

- ・故障や漏電の時感電する原因になります。
- ・アース棒やアース板を地中に埋め込み、アース線を接続する電気工事は、電気工事士の資格が必要ですので、お近くの電気工事店へ依頼してください。



### 10. アース線を水道管やガス管に接続しないでください。

- ・破損や引火の危険があります。

### 11. 本機は大切に取り扱いってください。

- ・転倒や落下により、破損する恐れがあります。

## ご使用前

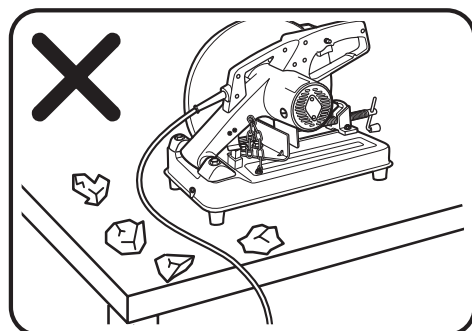
## ⚠ 注意

### 1. 作業場はいつも明るく、きれいにしてください。

- ・暗かったり、散らかった場所での作業は事故の原因になります。

### 2. 使用電源は必ず銘板に表示してある電圧(AC 100V)でご使用ください。

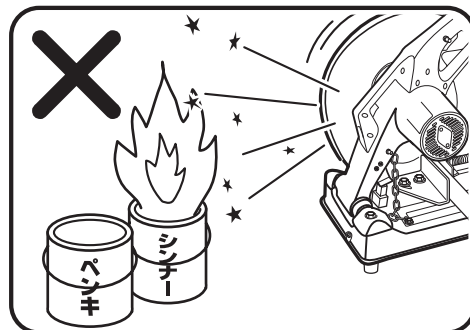
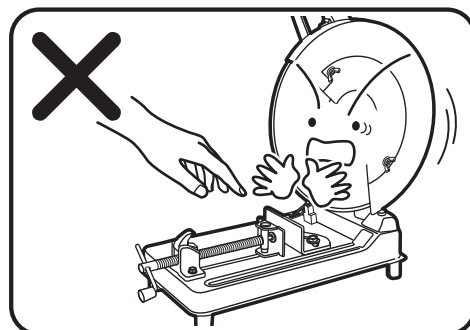
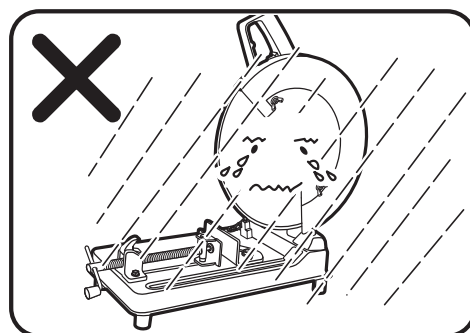
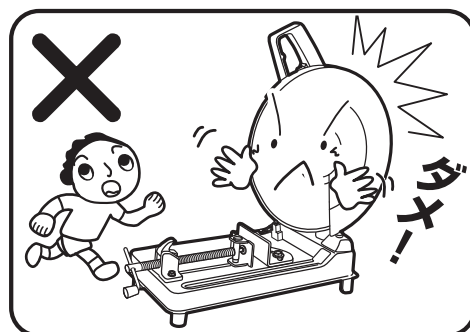
- ・表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、事故やけが、本機損傷の原因になります。



## ご使用中

## ⚠ 警告

1. 電源コードは誤って切断しないよう、切断ライン上から離れた位置にある事を確認してください。
2. 子供を近づけないでください。
  - ・作業員以外、高速切断機やコードに触れさせないでください。
  - ・作業員以外、作業場へ近づけないでください。
3. 作業場の周囲状況も考慮してください。
  - ・高速切断機は、雨の中や、湿った、または濡れた場所で使用しないでください。
4. 切断をする材料は、クランプで確実に固定してください。 **P13~P15**
  - ・手や足で押さえたりすると、ねじれ等が生じ、思わぬ事故につながります。
5. あまり小さな加工物の切断は危険です。
  - ・クランプから外れて飛散する恐れがあります。
6. 無理な姿勢で作業しないでください。
  - ・常に足元を安定させ、バランスを保つようにしてください。
7. 運転中は切断砥石および可動部に手や身体を近づけないでください。
  - ・事故やけがの原因になり、大変危険です。
8. 切断砥石が回転している時は本機後方に立たないでください。
9. 揮発性可燃物のそばで使用しないでください。
  - ・切断時に火花や切屑が飛散します。
  - 引火または爆発の恐れがあるため、大変危険です。
10. 運転中、機体の調子が悪かったり、異常に気づいた時は、直ちに運転を中止してください。
  - ・そのままの使用は、事故やけがにつながります。

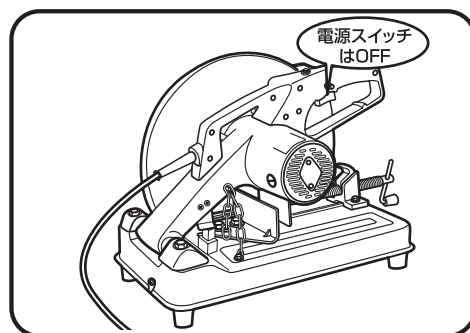
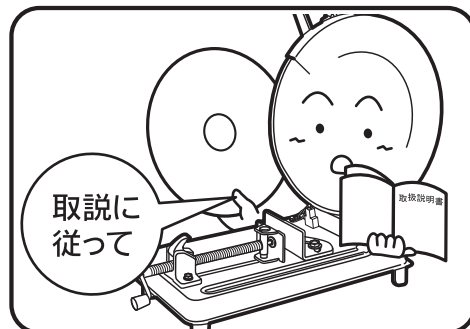


# 安全上のご注意

## ご使用中

## 警告

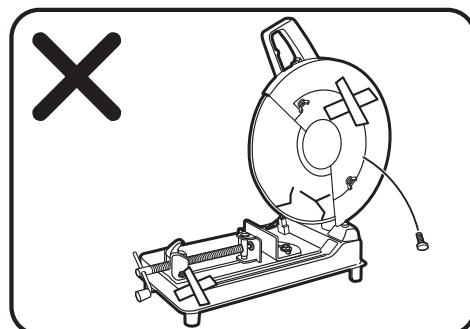
- 1 1. 切断砥石の交換は、取扱説明書に **P16~P19** 従って確実に取り付けてください。
  - ・不確実な取り付けは、外れて事故やけがの原因になります。
- 1 2. 切断砥石を交換した際、最初に電源スイッチを入れる時は、砥石回転の正面に立たないでください。
  - ・砥石が破損した場合、事故やけがの原因になります。
- 1 3. 不意な始動を避けるため、次の場合は高速切断機の電源スイッチを切り、差し込みプラグを電源から抜いてください。
  - ・使用しない、または修理・点検する場合
  - ・切断砥石など付属品を交換する場合
  - ・停電などの時
  - ・本体を持ち運ぶ時
  - ・その他危険が予想される場合



## ご使用中

## 注意

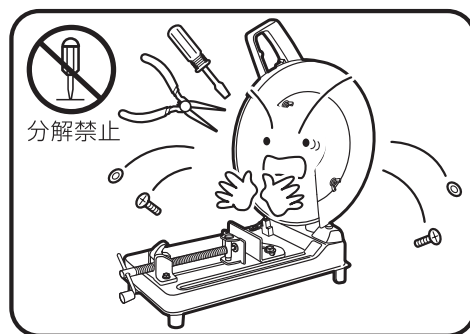
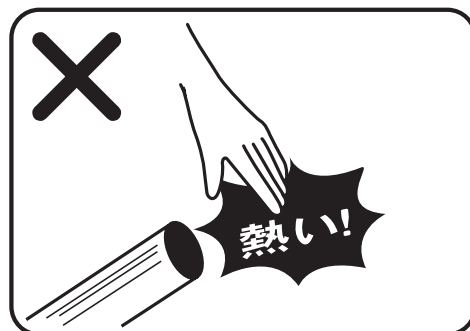
1. 切断砥石は必ず補強入りのレジノイド砥石を使用してください。
2. 誤って落としたり、ぶつけた時は、切断砥石や機体などに破損や亀裂、変形がないことを点検してください。
  - ・破損や亀裂、変形がある時は使用しないでください。



## ご使用後

## ⚠ 警告

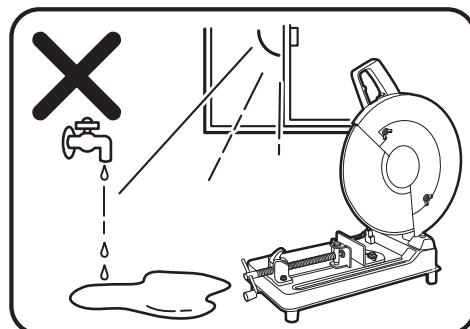
1. 電源スイッチをOFFにした後、差し込みプラグを電源から抜いてください。
  - ・不意な作動で、思わぬ事故やけがの原因になります。
2. スイッチを切った後も、惰性で回転している切断砥石に注意してください。
  - ・手や身体に触れると、けがの原因になります。
3. 切断直後の加工材は絶対に素手で触らないでください。
  - ・切断直後の切断面は大変熱くなっています。やけどの恐れがあり、大変危険です。
4. 本機を分解、改造しないでください。
  - ・事故やけが、故障の原因になります。
5. 損傷した部品がないか点検してください。
  - ・そのまま使用していると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故や故障の原因になります。
6. 注意深く手入れをしてください。
  - ・電源コードや差し込みプラグは定期的に点検し、損傷している場合はお買い求めの販売店または発売元までご連絡ください。
  - ・握り部は常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。



## ご使用後

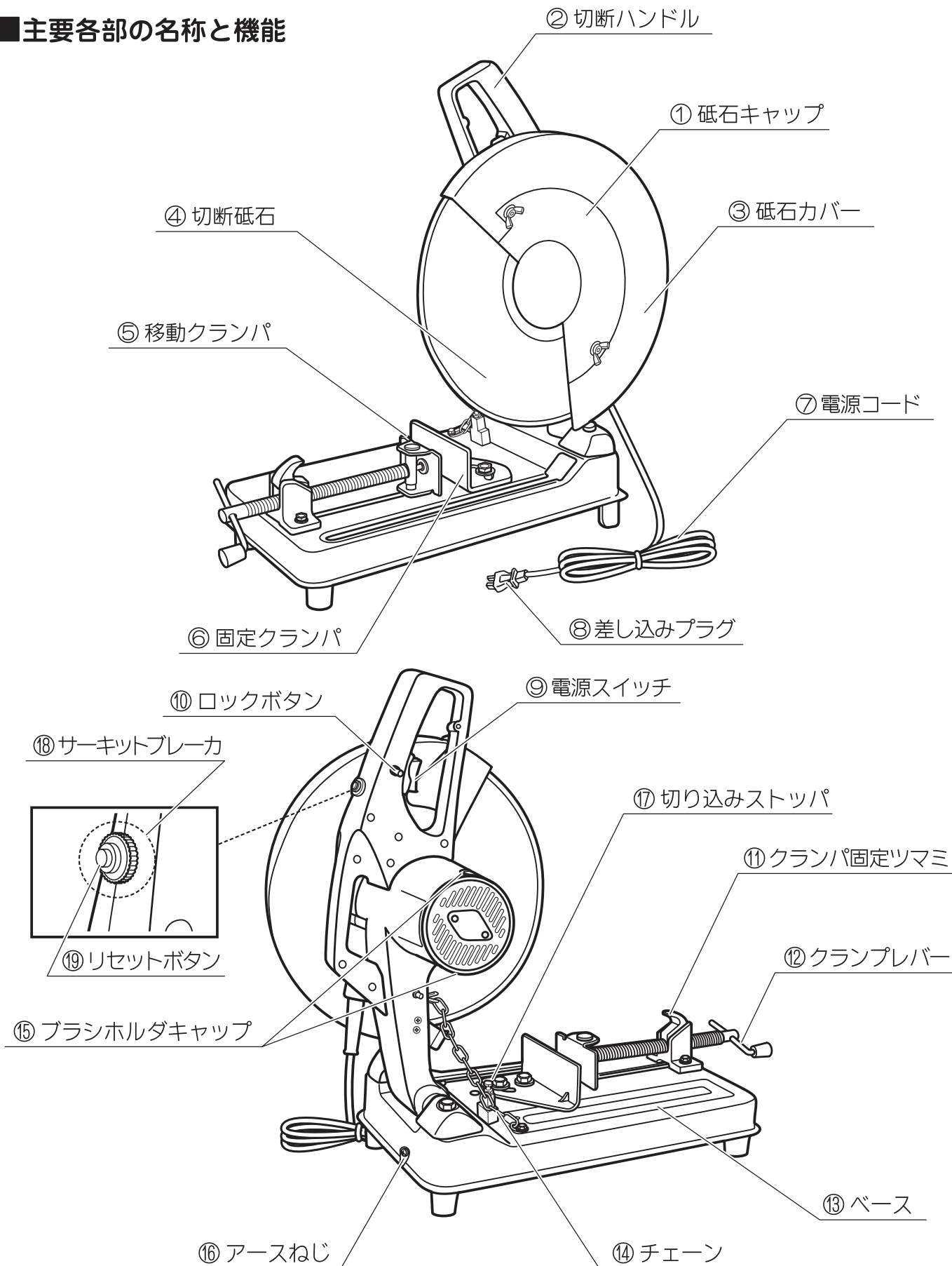
## ⚠ 注意

1. 使用しない場合はきちんと保管してください。
  - ・お子様の手の届かない所、または鍵のかかる所に保管し、湿度の高い所、雨のかかる所、直射日光の当たる所は避けてください。



# 各部の名称

## ■主要各部の名称と機能





	名 称	機 能
①	砥石キャップ	切断砥石に手や物が当たらないように保護しているカバーです。砥石交換の際に外すことができます。
②	切断ハンドル	切断砥石の上げ下げを行います。
③	砥石カバー	切断砥石に手や物が当たらないように保護しているカバーです。本体に固定されています。
④	切断砥石	加工物を切断します。
⑤	移動クランプ	加工物を固定します。可動式です。
⑥	固定クランプ	加工物を固定します。
⑦	電源コード	電源コードです。(HVCTF 2.0mm <sup>2</sup> )
⑧	差し込みプラグ	差し込みプラグです。
⑨	電源スイッチ	電源のON/OFF操作を行います。
⑩	ロックボタン	電源スイッチを引いた状態でロックボタンを押すと、電源スイッチから指を離しても電源スイッチがONのまま固定されます。
⑪	クランプ固定ツマミ	クランプレバー側に倒すと、素早い締め付けが可能です。
⑫	クランプレバー	クランプレバーを回して、加工物を確実に締め付けます。
⑬	ベース	ベースです。
⑭	チェーン	使用后および保管時は、チェーンで切断ハンドルを固定してください。
⑮	ブラシホルダキャップ	カーボンブラシを止めているキャップです。(2ヶ所) <b>P26~P27</b> →
⑯	アースねじ	アース線を接続します。 <b>P11</b> →
⑰	切り込みストッパ	切り込み深さを調整します。 <b>P23</b> →
⑱	サーキットブレーカ	モータに無理がかかると、リセットボタンが飛び出し、本機は停止します。 <b>P12</b> →
⑲	リセットボタン	サーキットブレーカの作動・再起動を行います。 <b>P12</b> →

# ご使用前に

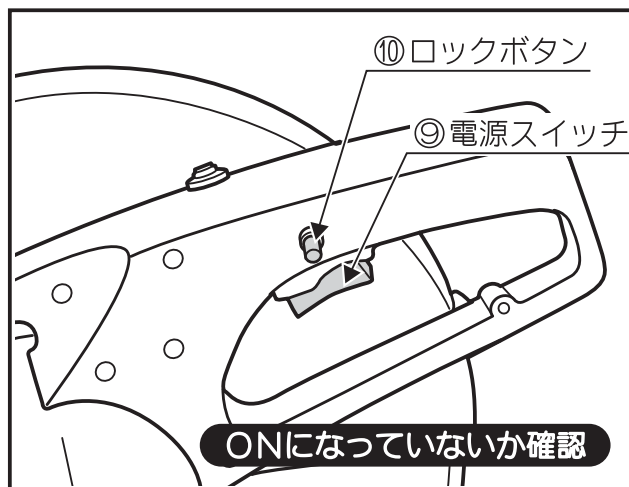
※各部名称・番号はP8・P9をご参照ください。

## ■電源スイッチの確認

電源スイッチが引かれた状態になっていないか確認してください。

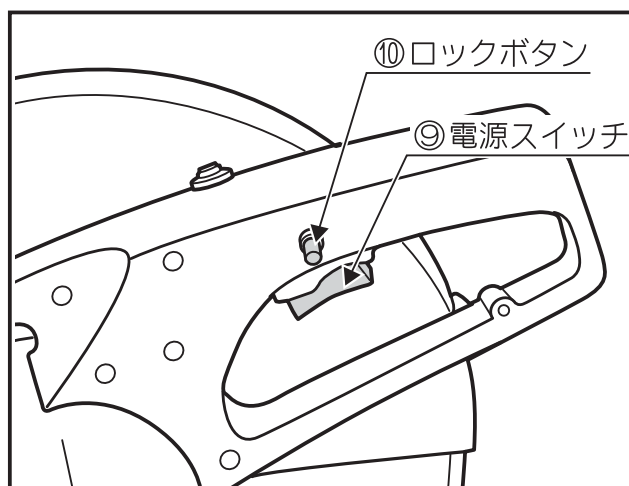
### ⚠ 警告

電源スイッチが入った状態で、差し込みプラグを電源に差し込むと、不意に始動し、思わぬ事故の原因になります。



## ■電源スイッチの操作のしかた

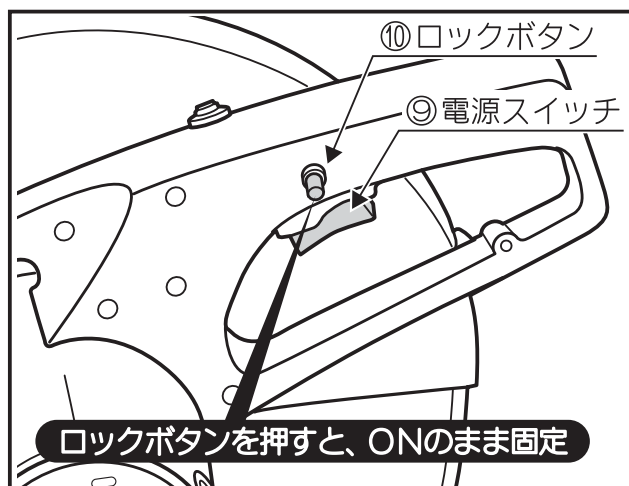
電源スイッチを引くと、電源が入り本機は起動します。



電源スイッチを引いた状態でロックボタンを押すと、電源スイッチから指を離しても電源スイッチは入ったままの状態になります。電源スイッチを切る場合は、再度電源スイッチを引いてください。

### ⚠ 警告

作業終了時は、必ずロックボタンを解除してから差し込みプラグを抜いてください。

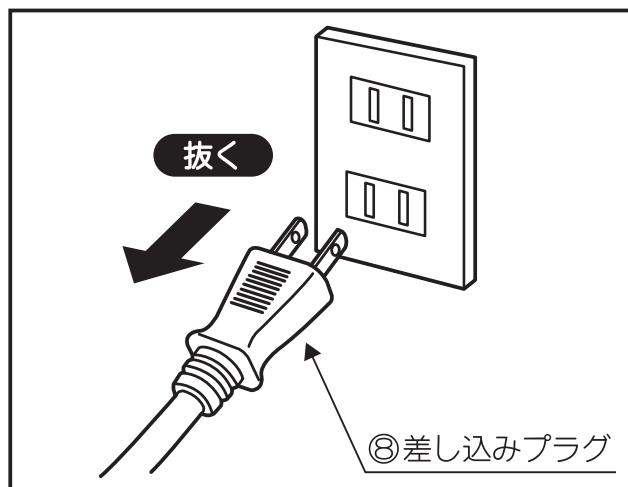


## ■差し込みプラグの確認

差し込みプラグが電源(AC100V)に差し込まれていないか確認してください。差し込んである場合は電源より抜いてください。

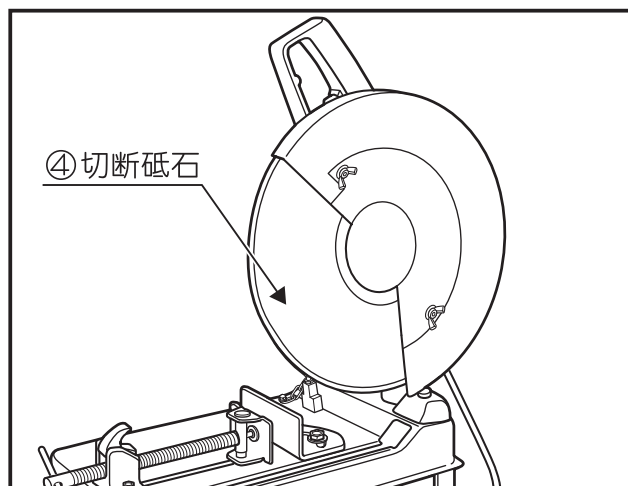
### ⚠ 警告

電源コードを引っ張って電源から抜いたりすると、電源コードを傷め、断線・短絡(ショート)の原因になります。電源コードは乱暴に扱わないでください。



## ■切断砥石の確認

切断砥石の点検を行ってください。砥石に亀裂等がないか、取り付けにゆるみやガタつきがないか確認をしてください。

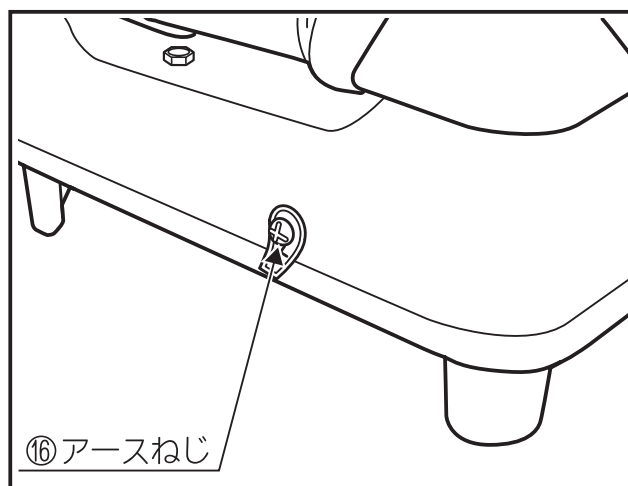


## ■アース線の接続

感電事故を防止するため、アースねじを⊕ドライバでゆるめ、アース線を接続してください。接続後、アースねじを締め直します。

### ⚠ 警告

アース端子が無い場合、アース棒やアース板を地中に埋め込み、アース線を接続する電気工事が必要です。この工事は、電気工事士の資格が必要ですので、お近くの電気工事店にご相談ください。



# ご使用前に

※各部名称・番号はP8・P9をご参照ください。

## ■サーキットブレーカ

本機は、モータに無理がかかり、過負荷電流や温度上昇が生じた時にリセットボタンが飛び出し、本機は停止します。

### ⚠ 警告

サーキットブレーカ作動後は、電源をOFFにしてください。再起動した際に、不意な始動をする原因になり、危険です。

### ①原因の確認

サーキットブレーカが作動した原因を確認してください。

- ・延長コードは使用していませんか？

**P24**

- ・砥石が磨耗していませんか？

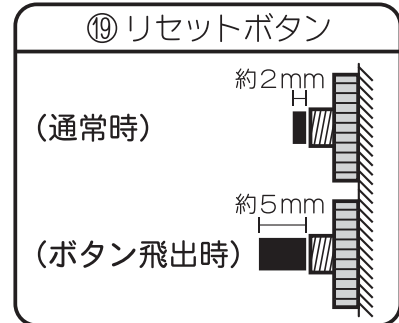
**切断砥石の交換 P16~P19**

- ・切削負荷のかけ過ぎ・定格時間以上の作業はしていませんか？

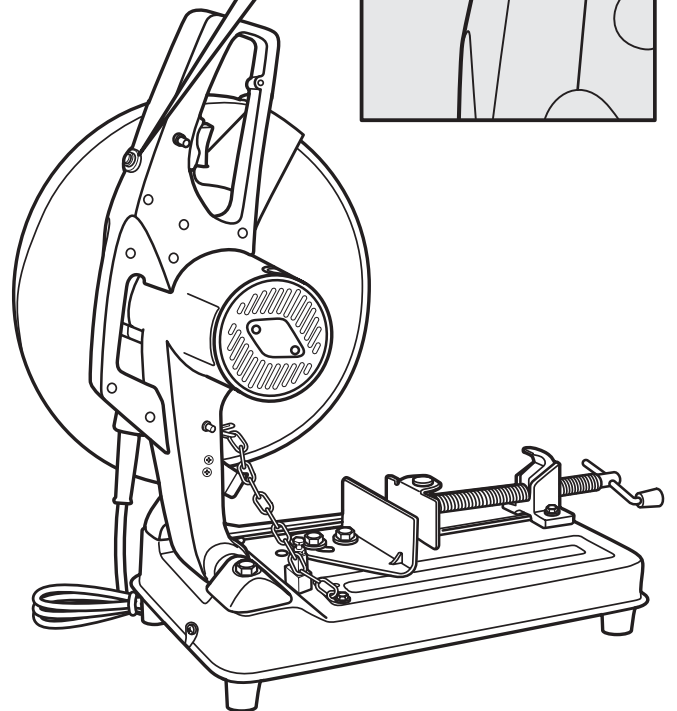
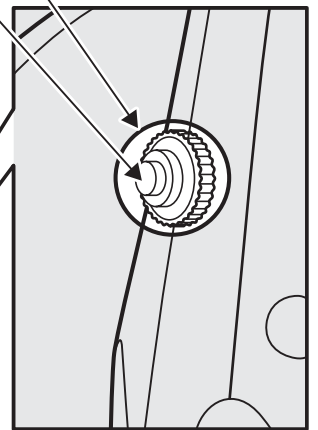
上記の状態である場合は、その原因を取り除いてください。上記以外の原因が考えられる場合は、お買い求めの販売店または発売元にご連絡ください。

### ②サーキットブレーカの再起動

リセットボタンが飛び出した後、電源をOFFにし、3~5分間待つてから（モータが冷えたことを確認した後）リセットボタンを押してください。



①⑩ サーキットブレーカ



# クランプの使いかた

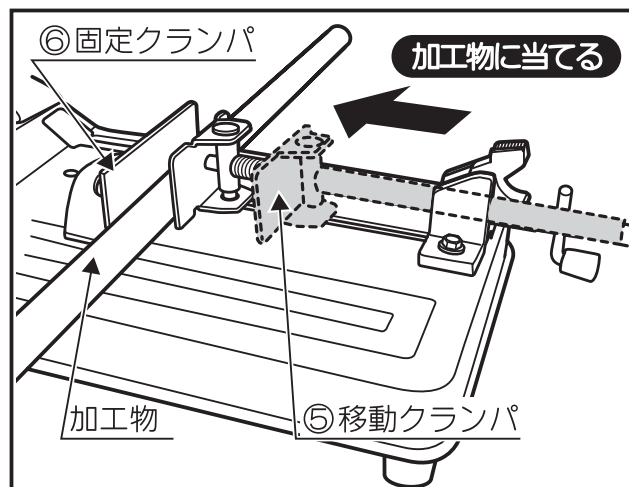
※各部名称・番号はP8・P9をご参照ください。

## ■加工物の固定

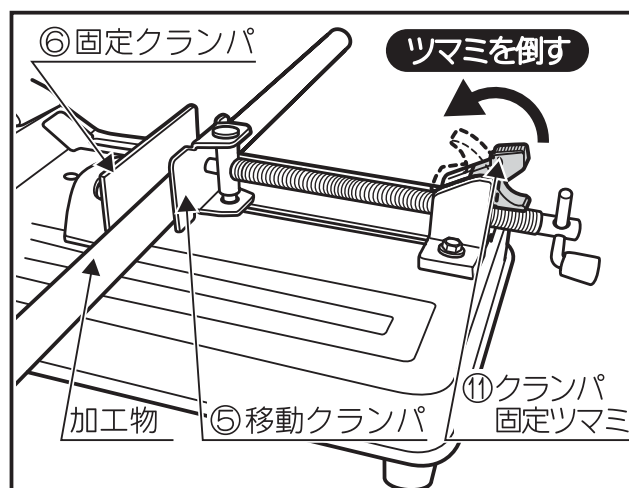
- ①固定クランプと移動クランプの間に加工物を置き、移動クランプ先端部分を加工物に当ててください。

### ⚠ 注意

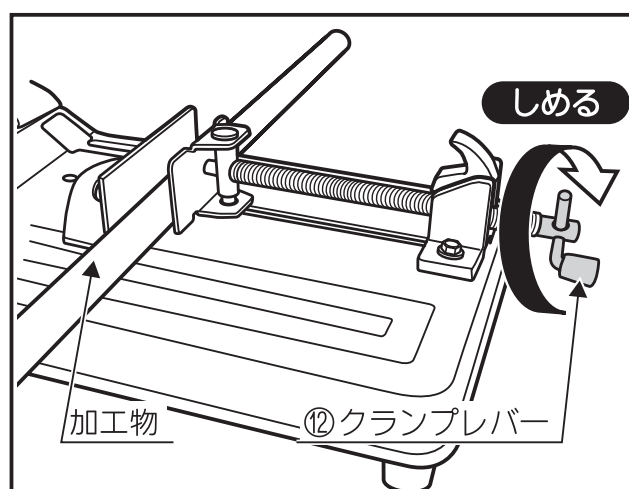
固定クランプの固定ボルトが確実に締まっているか確認してください。



- ②クランプ固定つまみを倒してください。  
これで移動クランプはガタつかずに固定されます。



- ③クランプレバーを回して、確実に加工物を固定してください。



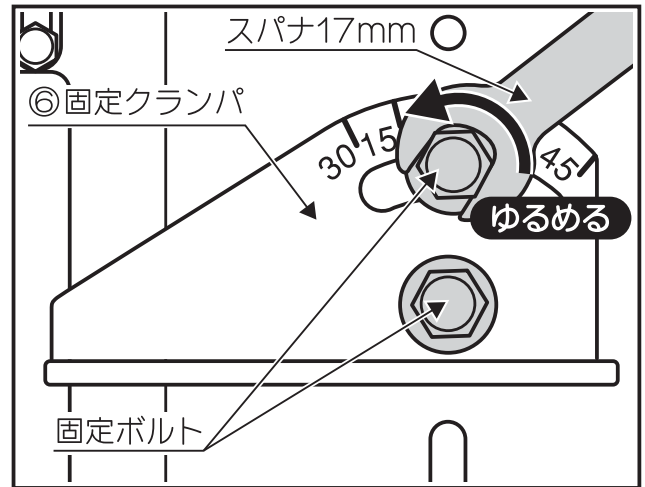
# クランプの使いかた

※各部名称・番号はP8・P9をご参照ください。

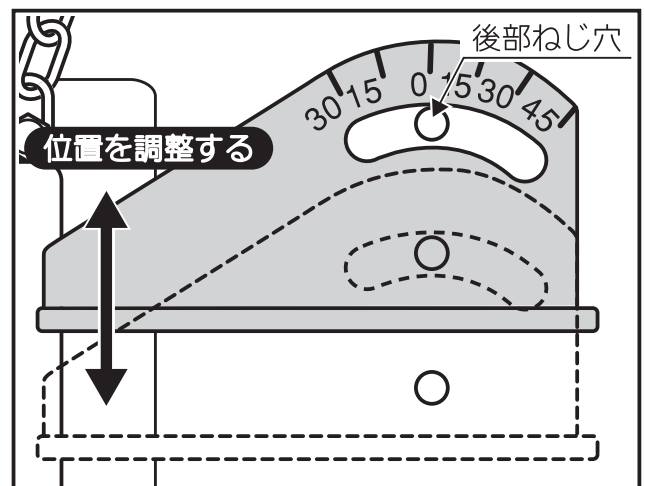
## ■固定クランプの移動のしかた

幅の広い加工物を切断する時は、固定クランプの位置調整を行います。

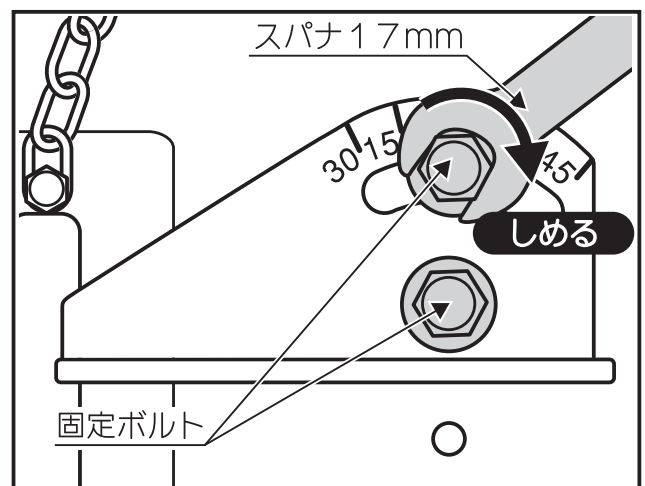
①固定クランプを固定しているボルト2本を付属のスパナ17mmでゆるめてください。



②後部の方のねじ穴に合わせて固定クランプの位置を調整してください。

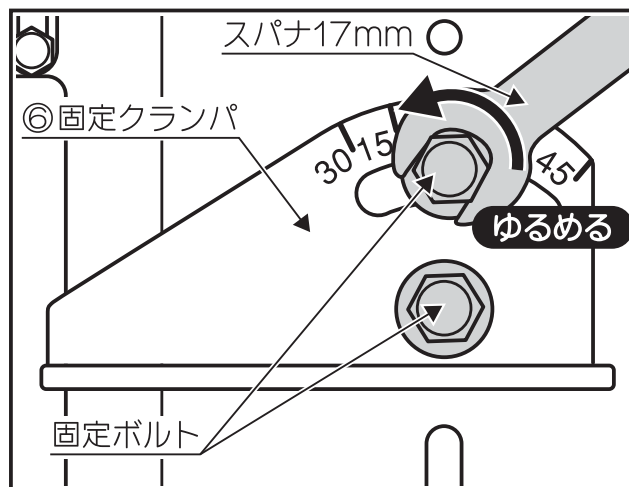


③後部の方のねじ穴に合わせて固定ボルトを確実に締め付けてください。



## ■角度切断のしかた

①固定クランプを固定しているボルト2本を付属のスパナ17mmでゆるめてください。

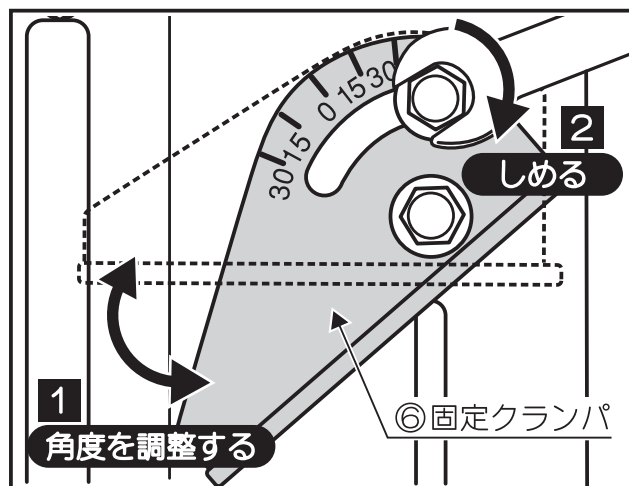


②ベースのラインに合わせて、固定クランプを任意の角度に調整し、固定ボルトを確実に締め付けてください。

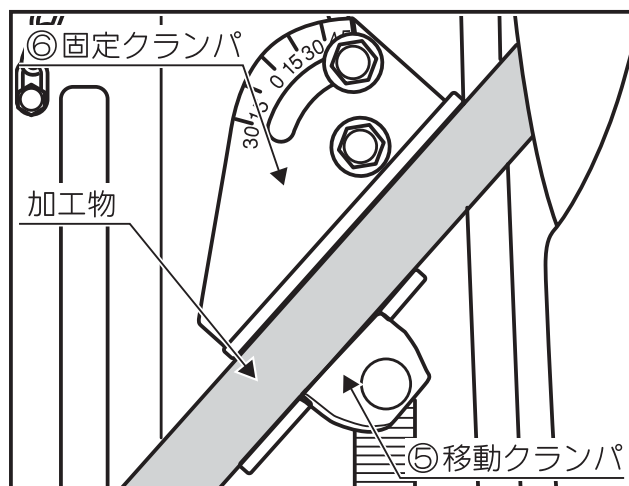
### ⚠ 注意

固定クランプの角度目盛は、あくまで目安としてご利用ください。

正確な角度での切断が必要な場合は、事前に市販の測定用具で印をつけてください。



③固定クランプと移動クランプで、加工物をしっかり挟み込むように固定してください。



# 切断砥石の交換

※各部名称・番号はP8・P9をご参照ください。

## ⚠ 警告

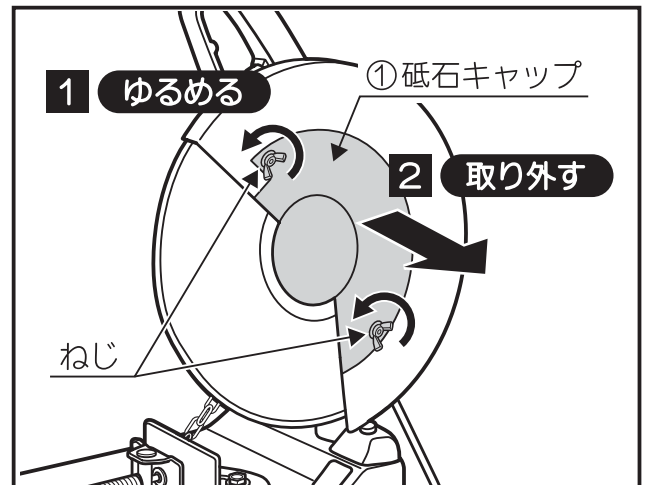
- ・切断砥石を交換する際は、必ず電源スイッチを切り、差し込みプラグを電源から抜いて行ってください。
- ・切断砥石にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
- ・切断砥石は本文の指示に従って確実に取り付けてください。  
確実でないと、外れたり、けがや事故の原因になります。

## ⚠ 注意

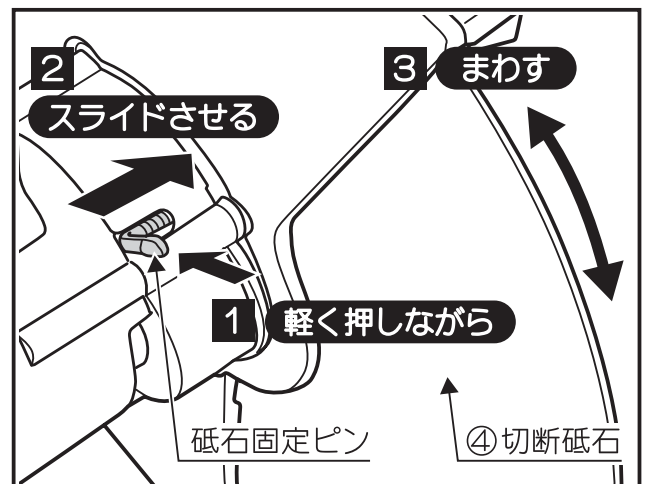
- ・スパナ、レンチ、ドライバなどの工具類は、使用后すぐに外すようにしてください。  
電源スイッチを入れる前には、それらが外してあるか確認してください。

### ■ 切断砥石の取り外し

- ① 2ヶ所のねじをゆるめて外し、砥石キャップを取り外してください。



- ② 切断ハンドル取付部分の下側にある砥石固定ピンを、軽く押しながら切断砥石方向にスライドさせ、切断砥石をゆっくり回して切断砥石が固定される位置を確認してください。

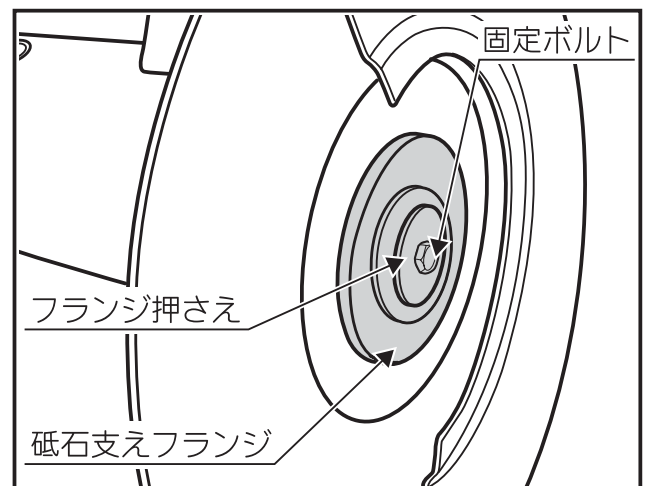




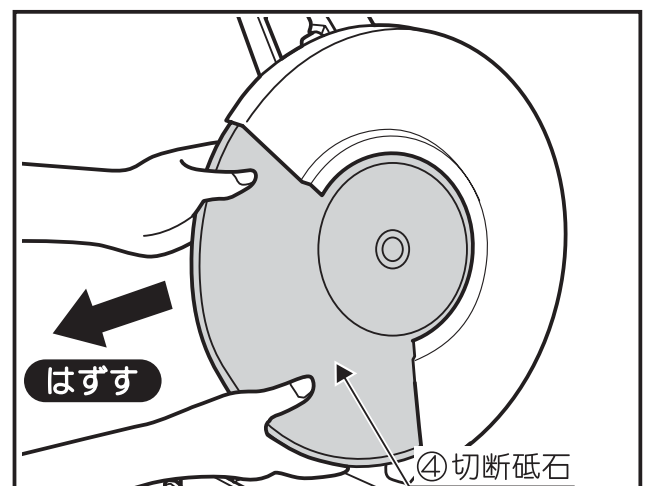
- ③②で切断砥石を固定した状態で、砥石を固定しているボルトを付属のスパナ17mmでゆるめてください。



- ④固定ボルト、フランジ押さえ、砥石支えフランジの順に外します。



- ⑤切断砥石を外してください。



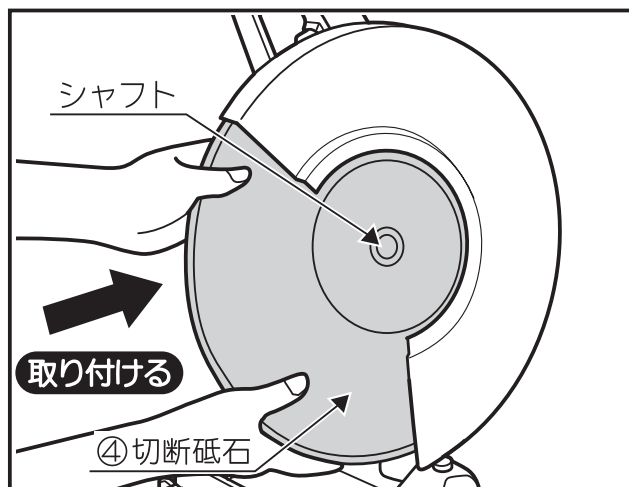
# 切断砥石の交換

※各部名称・番号はP8・P9をご参照ください。

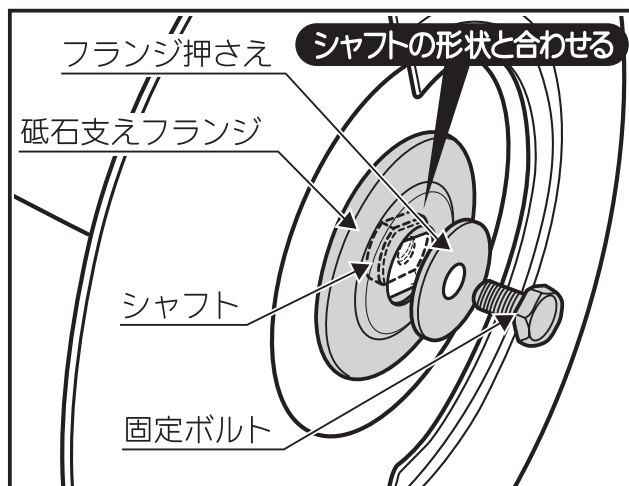
## ■切断砥石の取り付け

取り外しと逆の手順で取り付けます。

①切断砥石をシャフトに取り付けてください。



②砥石支えフランジ、フランジ押さえ、固定ボルトの順番で取り付け、固定ボルトを手で軽く締め付けてください。



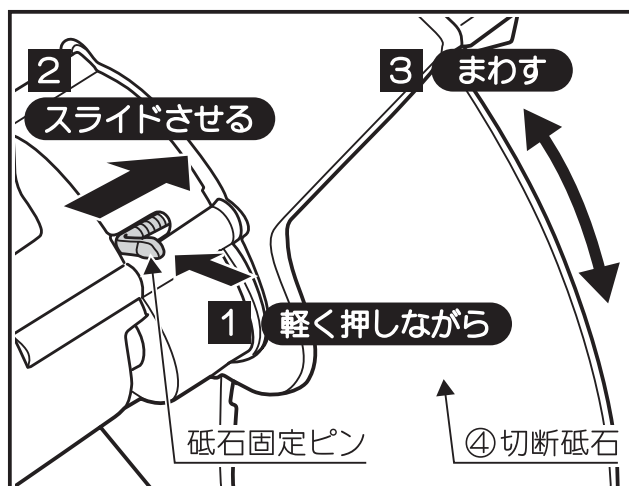
### ⚠ 注意

砥石支えフランジは、穴の形状とシャフトの形状を合わせるようにして、軸がズレないように確実に取り付けてください。

### ⚠ 注意

砥石支えフランジは、中央凸部が外側になる向きで取り付けてください。

③切断ハンドル取付部分の下側にある砥石固定ピンを、軽く押しながら切断砥石方向にスライドさせ、切断砥石をゆっくり回して切断砥石が固定される位置を確認してください。



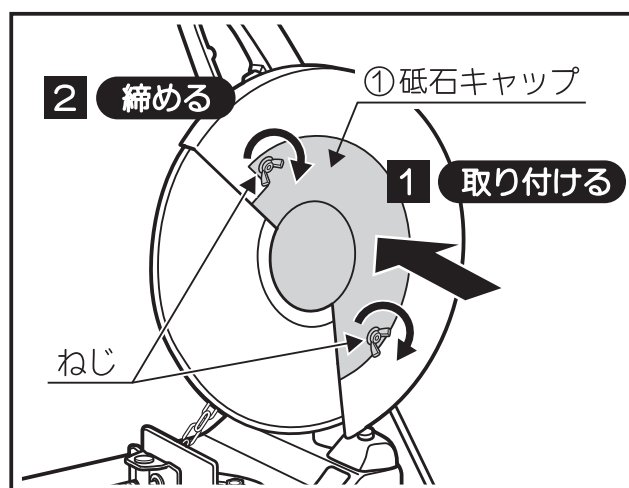
- ④③で切断砥石を固定した状態で、砥石を固定しているボルトを付属のスパナ17mmで確実に締め付けてください。

**⚠ 注意**

切断砥石の取り付け部にブレやゆるみがないように、しっかりと締め付けてください。



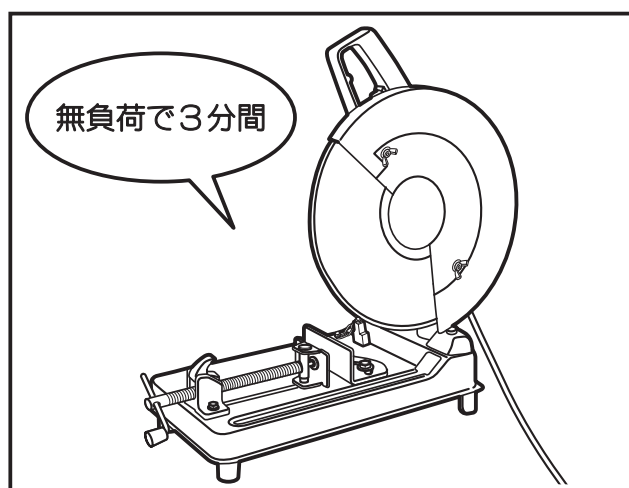
- ⑤砥石キャップを取り付け、2ヶ所のねじを締めてください。



新しい切断砥石を取り付けた時は、無負荷(カラ運転)で3分間の試運転を行い、必ず安全確認をしてください。

**⚠ 注意**

切断砥石を交換した際、最初に電源スイッチを入れる時は、砥石回転の正面に立たないでください。  
砥石が破損した場合、事故やけがの原因になります。



# 運転手順

※各部名称・番号はP8・P9をご参照ください。

## 警告

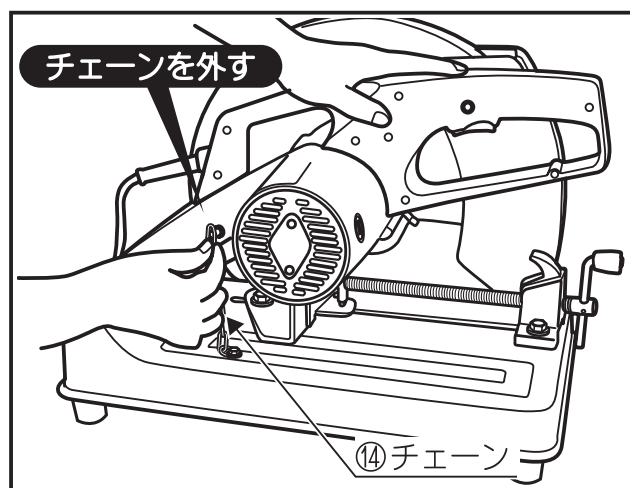
- ・本機の据え付けは安定した水平な場所を選定してください。
- ・運転前に必ず切断砥石を点検し、亀裂等が無いか確認してください。
- ・砥石カバー・砥石キャップを確認してください。砥石カバー・砥石キャップは砥石が破損した場合の防護具です。これを取り外しての作業は絶対にしないでください。
- ・加工物は、クランプで確実に固定してください。手や足で押さえたりすると、ねじれ等が生じ、思わぬ事故につながります。

## 注意

- ・ご使用前には、本体各部のねじ類が確実に締め付けられていることを確認してください。
- ・使用中は、絶対に回転部に手や顔を近づけないでください。
- ・砥石が回転している時は、本機後方に立たないでください。
- ・切断時に火花や切屑が飛散します。引火性のものは絶対に近くに置かないでください。

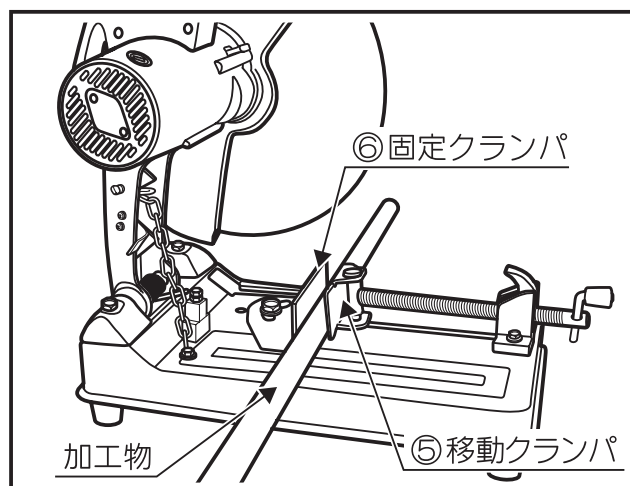
## 運転手順

- ①チェーンを外してください。



- ②加工物をクランプで確実に固定してください。

クランプの使いかた **P13~P15**



- ③差し込みプラグを電源(AC100V)に差し込んでください。  
電源スイッチを引くと、電源が入り本機は起動します。

電源スイッチを引いた状態でロックボタンを押すと、電源スイッチから指を離しても電源は入ったままの状態になります。  
電源を切る場合は、再度電源スイッチを引いてください。

**⚠ 警告**

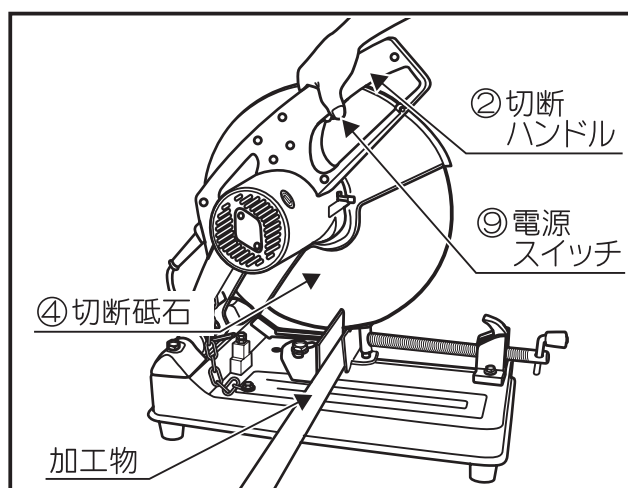
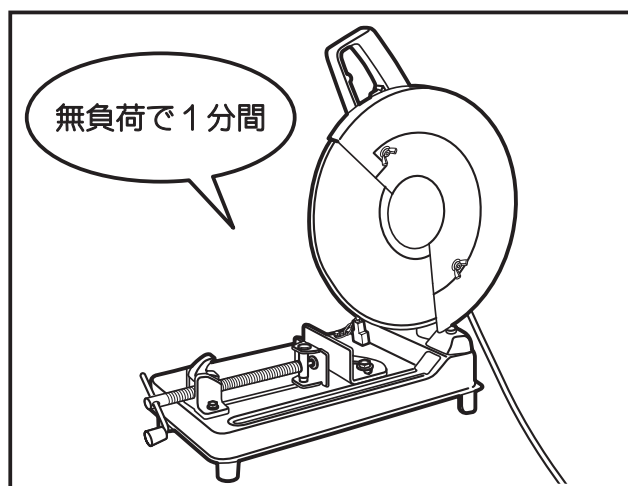
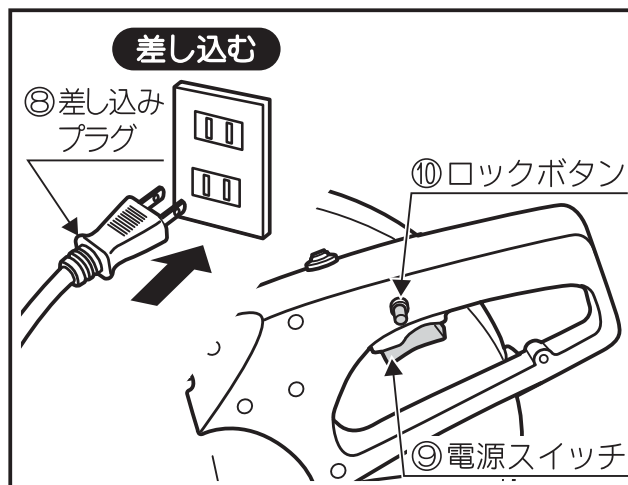
作業終了時は、必ずロックボタンを解除してから差し込みプラグを抜いてください。

- ④電源スイッチを入れて無負荷(カラ運転)で1分間試運転を行い、回転方向、切断砥石のブレ、モータの状態を確認してください。

- ⑤回転速度が十分に上がってから、静かに加工物に当てて切断を開始します。

**⚠ 警告**

切断砥石は決められた使用面以外は使用しないでください。切断砥石の側面は絶対に使用しないでください。



# 運転手順

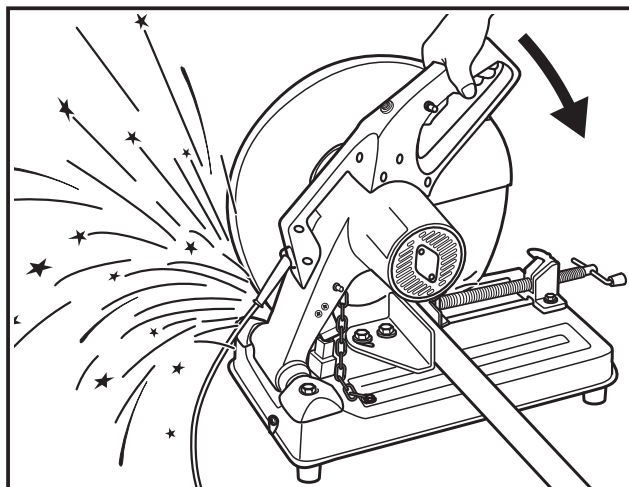
※各部名称・番号はP8・P9をご参照ください。

## ■運転手順（続き）

⑥無理に押し付けても、速い切断作業はできません。火花が最も多く出る強さの押し付けでの切断が最良です。

### ⚠注意

切断時、無理に押し付けるとモータに負担がかかります。絶対におやめください。

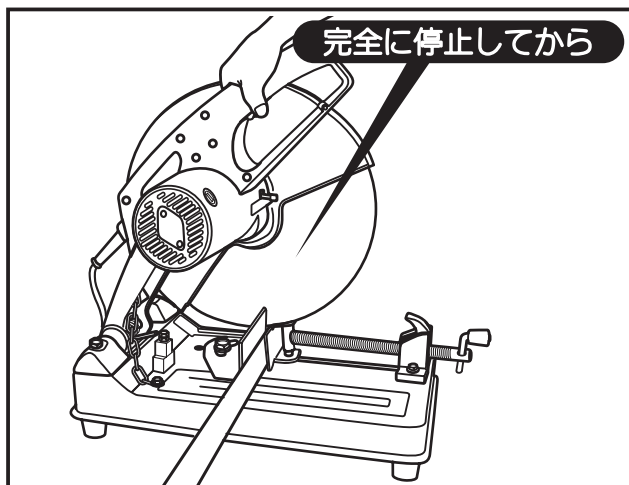


⑦切断が終わったら電源スイッチを切り、切断砥石の回転が停止してからハンドルを持ち上げてください。切断砥石が完全に止まってから加工物を取り外してください。

### ⚠警告

切断直後の切断面は大変熱くなっていますので、絶対に素手で触らないようにご注意ください。

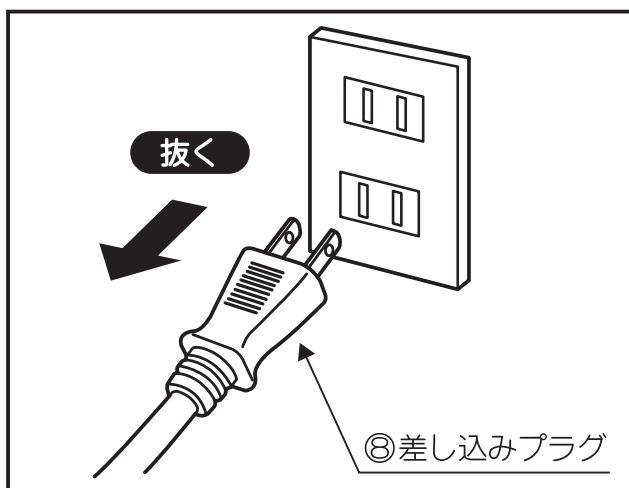
加工物が完全に冷めたことを確認してから取り外してください。



⑧差し込みプラグを電源(AC100V)から抜いてください。

### ⚠警告

電源コードを引っ張って電源から抜いたりすると、電源コードを傷め、断線・短絡（ショート）の原因になります。電源コードは乱暴に扱わないでください。

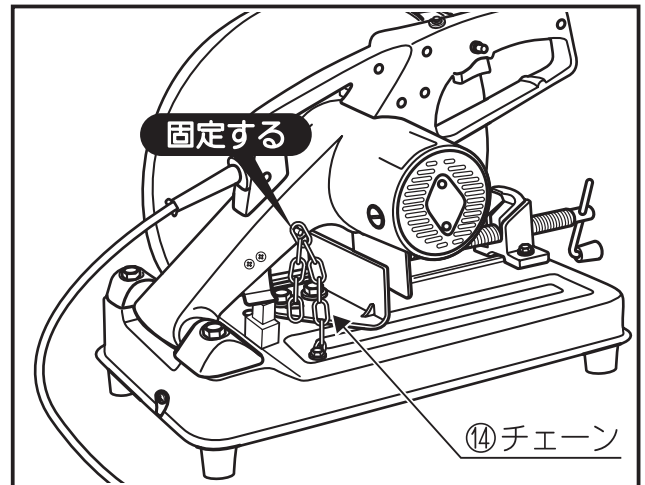


# 使用するにあたって

※各部名称・番号はP8・P9をご参照ください。

## ■保管の際は

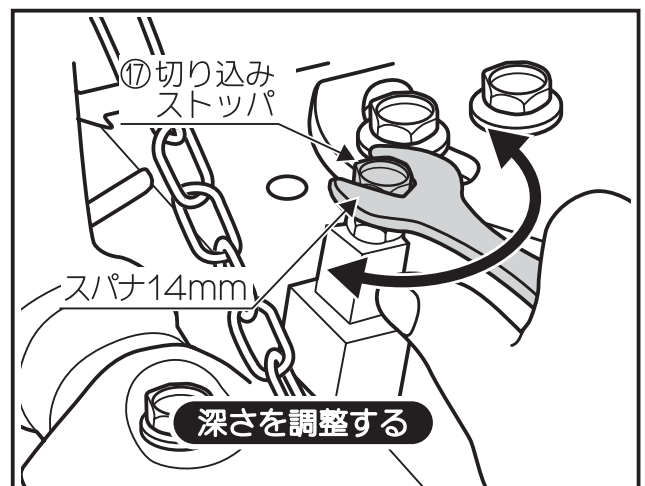
安全のため、使用後および長期間ご使用にならない時や持ち運びの際は、チェーンで切断ハンドルを固定してください。



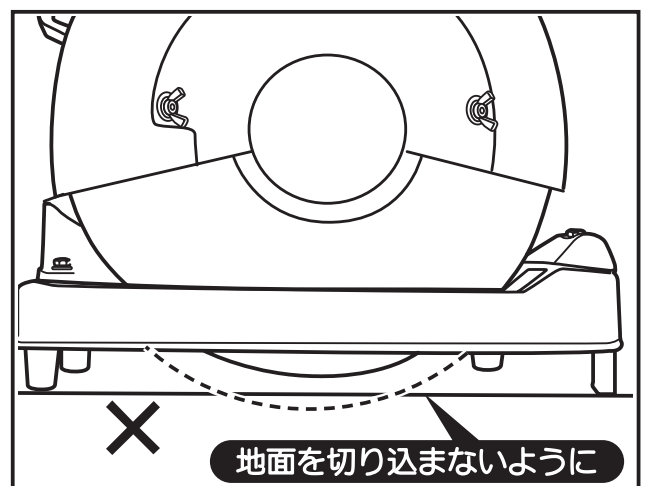
## ■切り込み深さの調整

切り込み深さについては、出荷時に適正な深さに調整されておりますが、切断砥石が磨耗して切り残しが出た場合は、切り込みストッパで調整を行います。

スパナ14mmで切り込みストッパを調整してください。



切り込み深さを調整した後や、新しい切断砥石に交換した場合は、地面やベースを切り込まないように再度調整を行ってください。



# 故障かな?と思ったら ※各部名称・番号はP8・P9をご参照ください。

●次のチェックリストに沿って点検を行ってください。

症 状	原 因	解 決 方 法
作動しない	①差し込みプラグが外れている	①差し込みプラグを正しく電源に差し込んでください。
	②モータの不良	②お買い求めの販売店または、発売元へご連絡ください。
	③カーボンブラシが磨耗している	③カーボンブラシの交換が必要です。手順に従ってカーボンブラシを交換してください。 <b>P26~P27</b> →
	④サーキットブレーカの作動	④モータが十分冷えた後、リセットボタンを押してください。 <b>P12</b> →
回転速度が上がらない	①電圧が低い	①正しい電圧で使用してください。
	②延長コードが長すぎる	②電源に近い場所で作業してください。

※これらのチェックを行っても正常に作動しない場合や、不明な点がございましたら、お買い上げの販売店または発売元までご連絡ください。  
お問い合わせや、ご連絡がないまま直接発売元に修理品などを送付されても、処理・対応ができません場合がありますので、ご了承ください。

# 別売品について ※各部名称・番号はP8・P9をご参照ください。

## ◆付属品別売表

付属品の名称	品 番	入 数
切断砥石	CS-305W	1
カーボンブラシ	CS-305C	2



# 保守と点検

※各部名称・番号はP8・P9をご参照ください。

## 警告

お手入れや点検の際は、必ず電源スイッチを切り、差し込みプラグを電源から抜いてください。事故やけがの原因になります。

## ■作業後のお手入れ

- ・ご使用後は各部のホコリ、切削クズを取り除き、本体を清掃してください。ガソリン、シンナー、石油等での清掃は本体を傷めますのでおやめください。また、水洗いは絶対にしないでください。
- ・握り部は常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。

## ■切断砥石の点検

- ・安全に効率よく作業していただくために、切断砥石は常に点検し、亀裂や割れなど破損していないか確認してください。

## ■各部取付ねじの点検

- ・各部の取付ねじは定期的に点検し、ゆるみや脱落などが無いか、確認してください。もしゆるみがある場合は、締め直してください。そのまま使用すると、危険です。

## ■保管について

使用しない場合はきちんと保管してください。次の場所には保管しないでください。

- ・お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所
- ・温度や湿度が急変する場所
- ・湿気の多い場所
- ・直射日光の当たる場所

## ■修理について

- ・本製品は、当社規格に基づき厳密な精度で製造、検査しておりますが、万一正常に作動しなくなった場合は、お買い求めの販売店、または発売元までご連絡ください。
- ・お問い合わせや連絡がないまま、直接発売元に修理品等を送付されても処理対応ができない場合がありますので、ご了承ください。

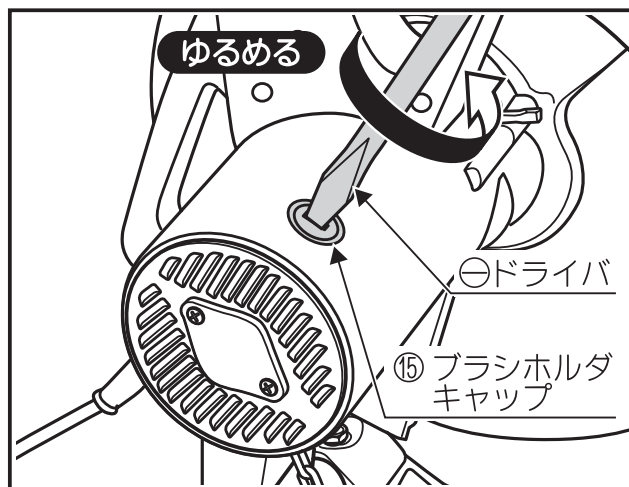
# 保守と点検

※各部名称・番号はP8・P9をご参照ください。

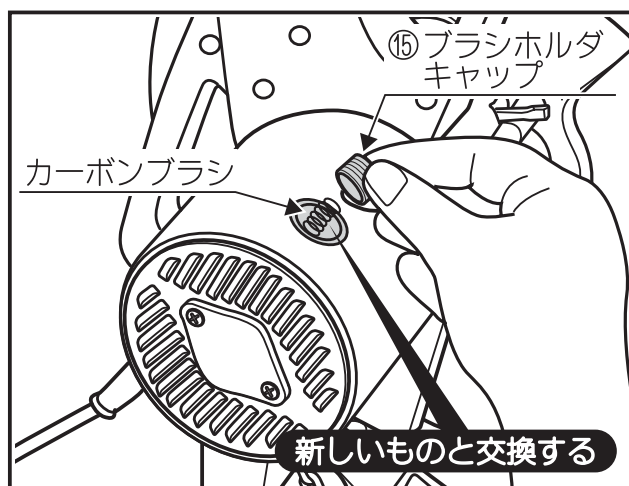
## ■カーボンブラシの交換

カーボンブラシは定期的に点検し、5mm程度になったら新品交換してください。

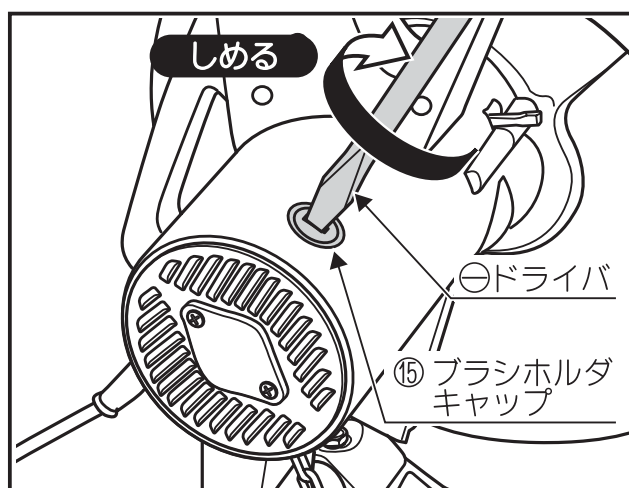
① ⊖ドライバでブラシホルダキャップを取り外します。



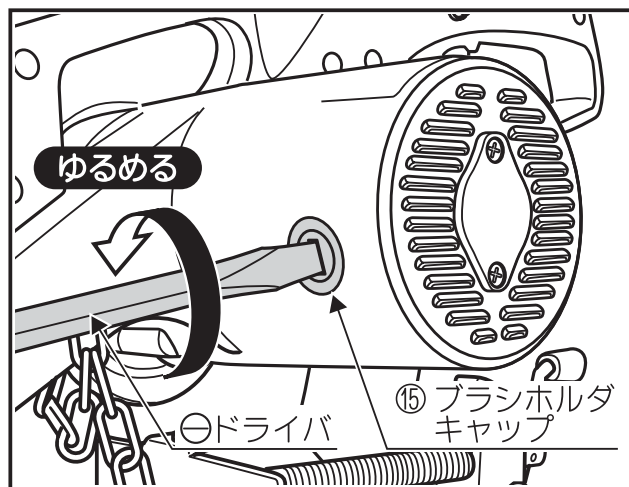
② 古いカーボンブラシを取り出して新しいカーボンブラシと交換してください。



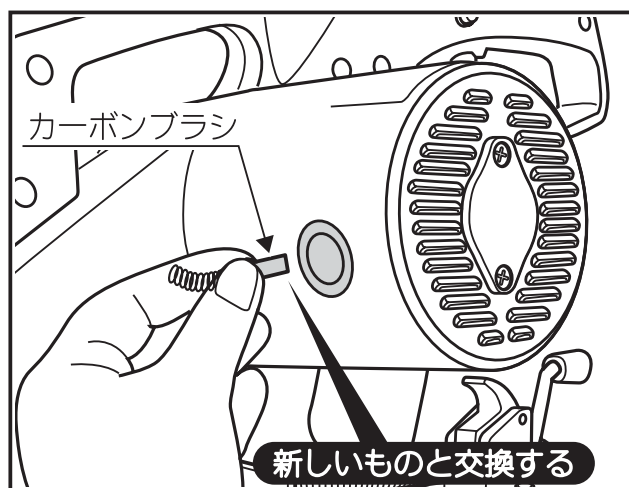
③ ブラシホルダキャップを取り付けてください。



- ④同じ要領で反対側のカーボンブラシも交換します。  
 ⊖ドライバでブラシホルダキャップを取り外してください。



- ⑤古いカーボンブラシを取り出して新しいカーボンブラシと交換してください。

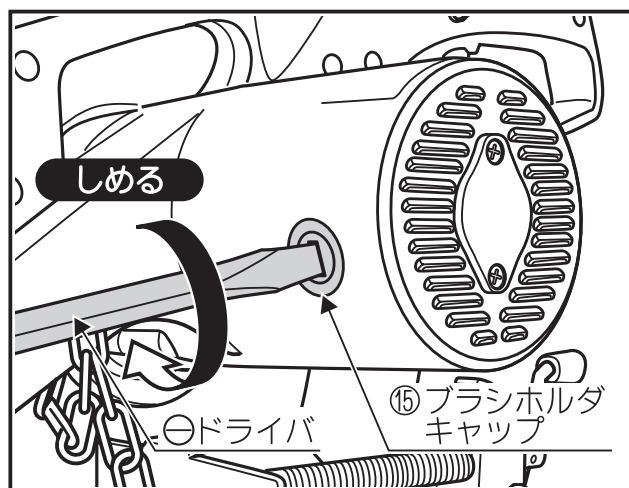


- ⑥ブラシホルダキャップを取り付けてください。

**⚠ 注意**

カーボンブラシは2個で1組になっております。交換は必ず同時に行ってください。

※カーボンブラシは別売しております。 **P24** →



# 保証書

保証期間内に取扱説明書等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用し、故障した場合には、お買い上げの販売店に本書をご提示の上、修理をご依頼ください。

品名	高速切断機	型式	CS-305
お買い上げ日※	年 月 日	保証期間	6ヶ月
お客様※	ご住所	〒	
	ご氏名	様	
	電話番号	- ( ) -	
販売店※	住所 店名 電話番号		

※印欄に記入のない場合は、無効となりますので、必ずご確認ください。

## 1. 保証期間内でも次のような場合には有償修理になります。

- ①本書の提示がない場合。
- ②本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合。あるいは文字を書き替えられた場合。
- ③使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
- ④お買い上げ後の落下、引越し、輸送等による故障及び損傷。
- ⑤火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷。
- ⑥一般家庭用以外（例えば、業務用の長時間使用、車輛、船舶への搭載）に使用された場合の故障及び損傷。

## 2. 本書は、再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

## 3. 本書は、日本国内においてのみ有効です。

発売元 **株式会社 パオック**

〒955-0061 新潟県三条市林町2-5-21  
TEL:(0256)33-5574 FAX:(0256)33-5559  
URL <http://www.paock.co.jp>

E901-Q1 1008840